

# 令和6年度 学校評価報告書（自己評価書・学校関係者評価書）

令和7年1月30日作成

中期目標	重点努力目標（評価項目）	自己評価	総合評価	達成状況と成果	関係者評価	学校関係者の意見・要望	今後の改善方策 次年度への課題 (★学校関係者評価を受けて)	
する「魅力あふれる教育活動」を展開	子ども主体の授業や活動	・子どもの思いを大切に子ども主体の授業や活動の展開 ・児童自ら考え、楽しみながら取り組む「あいさつ運動」	A	A	・全教職員が研究発表会向け子どもが活躍する授業づくりに取り組んだ。 ・縦割り班活動や1・6年の合同清掃、地域の方の授業支援などを実施し、人とかかわる楽しさを味わった。(学校評価：地域のかたとの活動が楽しい70%→83%)	A	・校内で子どもたちが元気にあいさつをしてくれる。 ・地域行事へ参加し楽しいと思ってくれてうれしい。 ・広く地域性豊かな授業・教育の実践は、大変有益なことだった。	・さまざまな人とかかわる授業や活動を体験し、楽しさを実感した子どもたちが主体的に地域行事に参加したり、地域課題に取り組んだりしていけるように「地域連携カリキュラム」の充実を図る。
	人とかかわる楽しさを味わえる活動	・異年齢や地域の人と積極的に交流する授業や活動を展開	A					
子どもの「生きる力」を育む	基礎基本の定着	・「新川スタンダード」「ICTの活用」「お話のわ」による基本的な知識や技能の定着	A	A	・教職員が放課に外遊びを推奨し、子どもとともに継続して運動に取り組み体力向上に努めた。 ・多くの魅力ある地域の「人・もの・こと」とかかわり、地域のかたの思いに触れ、地域のよさを実感し、子どもたちの学ぶ意欲が高まった。 (学校評価：もっと知りたい調べたい47%→58%)	A	・地域としても子どもたちが安全に外遊びができるように見守れるとよいと思う。 ・知りたい、調べたいから「こうやって知ることができた、調べてみたい」など成功体験を後押ししてほしい。	・体力向上のため、学年に応じたゲームや運動を取り入れ、子どもたちが楽しみながら運動できる環境づくりに努める。 ・「もっと知りたい・調べたい」意欲の高まった子どもたちが、調べ学習を個々に進め、深めていくために、調べ学習として利用しやすい図書の実践と対話を繰り返し、追究力を高めたい。
	体力の向上	・外遊びの励行 ・体を動かす楽しさを味わえる体育の授業づくり	A					
	もっと知りたい・もっと調べたいの向上	・子どもの切実感を引き出す問題解決学習の推進と充実 ・魅力ある教材の選定とともに、地域の教育力を活かした授業や活動の推進	A					
育てる信頼される教師集団を	信頼関係の構築	・子どもを丁寧にとらえ、教職員間で連携して支援	B	A	・毎月児童理解の会を開き、情報を共有し、対応した。 ・8月の熟議に5,6年の運営委員が参加した。防災について学習した子どもたちと地域のかたとの意見交流ができた。	A	・子どもを通して教職員のみなさんの細やかな気遣いを感じる。 ・熟議で子どもたちとの意見交流は楽しかった。	・子どもや保護者から相談しやすくなるように、より誠実かつ丁寧に対応し、信頼関係を構築する。 ・子どもとともに取り組める地域の課題を熟議のテーマに設定する。
	地域連携	・コミュニティ・スクールの在り方の研究・実践 ・HPでの情報発信	A					
進める安心安全な学校づくりを推	児童支援の充実	・成功体験や認められる場を設定し、自己肯定感や自己有用感の向上	A	A	・夏休みに南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」が発表されたことを受け、9月に地震に対する避難訓練を実施した。身近にある危険について自分ごととして考える機会になった。	A	・自分の身を自分で守る意識高め、危険を早く察知して行動を起こしてほしい。 ・SNSでのトラブルを防ぐ研修を保護者・児童を対象に実施してほしい。	・子どもも、教職員も自ら考え行動する避難訓練を実施し、危機管理能力を高めたい。 ・スマホを利用する子どもは増えている。情報活用にもなうリスクを学ぶ場を設ける。
	緊急時対応	・危機管理マニュアルの見直しを図るとともに実践的な訓練の実施	A					

【自己評価 A：十分に達成されている B：概ね達成されている C：あまり達成されていない D：ほとんど達成されていない】

【総合評価 自己評価をもとに 上記のA・B・C・Dで評価】

【関係者評価 A：適切である B：概ね適切である C：あまり適切ではない D：適切とは言えない】